

おめでとうございます

地域において昼夜を問わず発生する火災や風水害などに対する防災活動に従事され、町民の安全と安心を守ってきた多古町消防団の佐藤団長と工藤本部分団長。町の文化活動にご尽力されるとともに、「日本の文字は意味を持ち生きています」と書の道を追求された佐藤さん。それぞれの分野でご活躍され受章された3名の方々をご紹介します。

消防庁長官永年勤続功労章



佐藤 博勝さん(高野前)

27年間という長きにわたり消防活動に携わりご尽力された功績が評されました。県内の同受章者41名中、特に功績が顕著であるとされる7名に選ばれ、3月5日には日本消防会館での表彰式にも参加されました。

「本部の役員となって徐々に階級があるにつれて、町民の生命と安全を守るという責任の重さを実感しながら、火災現場では団員の安全確保や2次災害が生じないように気を付けました。この度は、榮譽ある章をいただき大変うれしく思います。3月いっぱいまで消防活動からは離れることになりましたが、今後も活動の支援に携わっていきたい」と今までを振り返って話されました。

日本消防協会長精積章

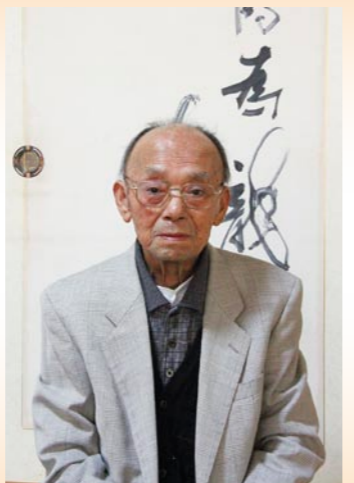


工藤 和明さん(北場)

「この度は、このような立派な章をいただきまして、ありがとうございます。今までを振り返ってみると、分団長時代に、自分の地区で大きな火災があったことが一番に残っています。いろいろなことがありましたが、その都度、活動を振り返り反省して、あらゆる現場に対応できるように努めてきました。」

自分は、本部のなかで現場を総括する立場にあり、大変ではありますがその反面やりがいもあります。この度の受章を契機に、今後も先輩たちのご努力を受け継ぎながら、新しいことにも挑戦し、地域住民の方々のために頑張りたいと思います。

千葉県芸術文化団体協議会芸術文化顕彰功労表彰



佐藤 力彌さん(南玉造・宿)

多古町文化協会の顧問をされている佐藤力彌さんが、地域の芸術文化の振興・発展のため長年にわたり活躍されたことが評価されました。

佐藤さんは、多古町文化協会の設立に携わり、副会長や会長を務めるなど役員として20年間ご尽力されました。「文化協会をまとめるのは私一人だけでなくみんなで取り組んだことです。昭和50年頃から本格的に書道を学び、その奥深さや面白さを知りました。自分の中の節目として、香取神宮で12年に一度行われる『式年神幸祭』に合わせて昨年の秋に『神徳』という畳一畳ほどの大きさの作品を奉納できたことは大変うれしいことでした」と受章の心境や近況を話されました。

住んで良かったといわれるまちづくりを目指します

菅澤町政3期目スタート!



1、子育て支援の充実

本町においても例外なく進んでいる少子化は、地域の活力を低下させるだけではなく、町そのものの存続にさえ繋がりがかねません。子育て世代の人口流出を抑え、転入者を増やすために子ども園をスタートさせたこれからは、運営面での充実に努めていきます。また、義務教育では小・中・高校との交流を密にし、地域に根ざした特色ある教育、地域全体で子どもを育む取組を推進していきます。

2、生涯現役のまち

元気な高齢者が多い町を目指します。誰もが安心して安全に長生きすることは国民全体の願

4月8日告示の多古町長選挙は、無投票で現職の菅澤英毅候補が再選となりました。就任してから2期。近年では、多古米の海外輸出にはじまり、「べにはるか」を使ったアイスや真空パックにした焼き芋の商品開発により農産物を広くPRする取組を展開したり、子育て世代を支援するための多古子ども園を建設する事業を行ってきました。時代の変革に対応し、自立したまちづくりが迫られるなか、町のさらなる発展を目指すための4つの柱が示されました。

いでもあります。いきいきと自立した日常生活を送り、生涯現役で暮らせるように高齢者の生きがいや健康づくりを推進するほか、地域内での助け合い活動と福祉サービスの連携による日常生活支援の充実を図りながら介護予防事業や疾病予防の取組などを強化していきます。

3、町の魅力を発信

四季折々の花に彩られ、訪れる人々の目を惹きつけたり、憩いの場として定着しているあじさい公園。そこにある道の駅は、「町の顔」です。町では今後、質の高い農産物をPRする場として道の駅を活用するとともに、多古米や大和芋など地元農畜産物を使った6次産業によ

る特産品開発の取組に対し補助をするなど町の魅力を発信する活動を支援します。また、道の駅の新たな事業展開も視野に入れつつ、観光情報や特産品情報などを充実させていきます。

4、空港との共存共栄

多古町を空港東側の玄関口として活性化していきます。圏央道の建設に伴い、成田国際空港などに関連する企業の進出を町に誘致するため、圏央道周辺の道路網の拡充や圏央道スマートインターチェンジ、サービスエリアの建設を目指します。また、多古台へのバスターミナル建設を進め、通勤圏として交通の利便性を図り定住者の促進につなげます。